

静岡県教育委員会

議事録

令和5年度 第9回定例
8月8日（火）

静岡県教育委員会教育長 池上重弘は、

令和5年8月8日に教育委員会第9回定例会を招集した。

1 開催日時 令和5年8月8日（火） 開会 10時00分
閉会 10時55分

2 会場 教育委員会議室

3 出席者 教 育 長 池 上 重 弘
委 員 藤 井 明
委 員 伊 東 幸 宏
委 員 小 野 澤 宏 時
委 員 天 城 真 美

事務局（説明員） 水 口 秀 樹 教育部長
塩 崎 克 幸 教育監
宮 崎 文 秀 理事（政策管理担当）
吉 良 光 陽 理事（新図書館担当）
本 多 伸 治 参事（学校教育担当）
井 出 好 彦 教育総務課長
秋 野 薫 教育政策課長
大 澤 篤 教育DX推進課長
上 原 啓 克 財務課長
内 山 成 一 教育厚生課長
山 川 和 成 教育施設課長
戸 塚 康 史 義務教育課長
中 山 雄 二 高校教育課長
高 橋 和 彦 特別支援教育課長
夏 目 伸 二 健康体育課長
藤ヶ谷 昌 則 社会教育課長
金 嶋 克 年 新図書館整備課長
室 伏 伸 明 静岡教育事務所長
大 根 富 木 静岡西教育事務所長
杉 山 禎 総合教育センター所長
柴 雅 房 中央図書館長

4 その他

(1) 報告事項は了承された。

【開 会】

教 育 長： ただ今より、教育委員会定例会を開催する。
今回の議事録の署名は、私のほか、藤井委員にお願いする。

【非公開の決議】

- 教 育 長： 議案の審議に入る前に、本定例会の議案の取扱いについて諮る。
報告事項2は人事案件のため、非公開としたいが、異議はあるか。
- 全 委 員： 異議なし。
- 教 育 長： それでは報告事項2は非公開とする。公開案件から審議する。

報告事項1 令和5年度全国学力・学習状況調査結果

- 教 育 長： 報告事項1「令和5年度全国学力・学習状況調査結果」について戸塚義務教育課長より説明願う。
- 義務教育課長： <報告事項について説明>
- 教 育 長： 質疑等はあるか。
- 藤 井 委 員： 英語についての説明があったが、そのデータはこの資料上に載っているのか。
- 義務教育課長： 「話すこと」のデータについては、抽出分を含め国からデータが来ていない。この後、1ヶ月かけて全校が行う。そのデータは8月の末に来るので、それから分析を進める。
- 藤 井 委 員： 中学の英語が出ているが、記載がないのは今の説明の部分ということか。
- 義務教育課長： 「話すこと」の部分は抜いている。
- 藤 井 委 員： 「話すこと」について、実際に正答率が12%と非常に低いと思うが、静岡県としてどういう改善策を行っていくのか。
- 義務教育課長： 数字を急激に上げるのは難しいと思うが、生きた英語ということでALTを配置している。ALTの質向上研修などを進め、生きた英語をうまく生徒に教えていくかということについて改善を図っていきたい。
- 藤 井 委 員： ALTだけに依存しているということ自体が違うのではないかと思う。普段、聞く読む書くを教えている英語の先生方の話すことに関する能力を向上していかないと生徒に伝わっていかない。
- 義務教育課長： 通常の教員についても、資格認定制度を設けて、各小学校の3倍程度の人数である900人の育成を進めてきたがその辺りも目途が立ち、一区切りになるという状況。教員に対してもそのような取組をしている。
- 藤 井 委 員： コミュニケーション能力がベースにどの程度あるかということが、英語を話せるということに繋がっていると思う。英語だけということではなく、コミュニケーション能力の向上にも力を入れてほしいと思う。
- 義務教育課長： ICTやオンラインなども活用しながら考えていかななくてはならないと思っている。
- 藤 井 委 員： 人工知能を使いこなすこと自体が当たり前な世の中になりつつある。もっと積極的に最新技術を導入して指導ができる体制を整えていく必要があると思う。
- 教 育 長： ALTが入れば自然と英語力が身につくという幻想を抱いている教育現場があろうかと思うが、ALT至上主義は違うと私は考えている。藤井委員から御示唆頂いたように、全般的なコミュニケーション能力の向

上あるいはアウトプットのスキルアップということを相対的に考えないと言葉が出てこない。間違ってもよいということ共有することが大切で、一つでも間違えたら正されるという状況の中では委縮してしまう。このあたり、特に小学校の現場ではどうなのか。

藤井委員： 必ずしも文法に則った会話をしなくても通じる。幅広い会話能力という捉え方をして採点をするべきだと思う。実際に私がニューヨークに住んでいた頃、タクシー運転手はあらゆる国籍の人がいたが、文法として多少言い方が違ってても充分通じた。採点の仕方やテストの仕方を考えなくてはいけないと思う。

静東教育事務所長： 現場を離れて2年たつので2年前の状況になるが、英語で話をする時に、古い人間は日本語の文章を英語に置き換えるという発想になってしまう。今の子供たちは、英語で会話をし表現するということを小学生から積み重ねているので、今の小学生が中学生になる数年後にはもう少し英語の文法で文章を考えることが身についていくと思う。全体的な正答率が低いということは、全体的に日本の子供たちがそういう傾向にあるということを示しているが、この数字は今の現状を表していて、これから数字が上がっていくと現場にいるものとしては信じている。今の小学生は、自然と英語で考え、英語でものを言えるといったコミュニケーションがなされているので、子供たちは英語で会話をするというところに何年か前より恥ずかしさや、羞恥心なくやっている。そういった姿を見ていただく機会があればよいと思う。

教育長： どうしてもこの調査の学力の部分は全国と比べて我が県はどうかという論調になりがちだが、学習状況調査の時系列の比較はとても大事だと考えている。特にコロナ前、コロナを経て今これから地域とのかかわりあるいはICTが入った後の子供たちの学びの在り方について時系列での変化、分析と対応に生かせるデータだと考えている。時系列の比較を戦略的に展開するという点について義務教育課はどう考えるか。

義務教育課長： 時系列の比較はこれまで若干弱かったと思っている。これまで、学習状況調査というのはその年の学力とクロス集計しているところが多かった。時系列についてもこれから取り入れながら考察を進めていきたい。

教育長： 他に質疑等はあるか。

全委員： (特になし)

教育長： 報告事項1を了承する。

(会議の非公開)

教育長： 会議を非公開とする。傍聴人は退席願う。

＜非＞報告事項 2 職員の任用無効

※ 非公表

教 育 長： 以上で、本定例会の議事は全て終了した。

これをもって、令和5年度第9回教育委員会定例会を閉会とする。